



2019年5月10日

各 位

会 社 名 株式会社フェローテックホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 山村 章
 (JASDAQ・コード6890)
 問合せ先 代表取締役副社長 山村 丈
 (03-3281-8808)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年3月期連結会計年度において、下記の通り特別損失を計上するとともに、2018年11月14日に公表いたしました2019年3月期の業績予想を修正しましたので、お知らせします。

記

1. 特別損失の発生及び内容

当社グループでは、事業構造改革の一環として、2020年3月期での太陽電池事業撤退の方針を表明しています。

2019年3月期第3四半期において、太陽電池関連事業資産の減損処理を行いました。第4四半期会計期間において追加の減損処理を行い、当連結会計年度累計で約2,100百万円の特別損失（減損損失）を計上する予定です。

また、2019年4月16日リリースの「韓国子会社におけるCVD-SiC事業からの撤退に関するお知らせ」の通り、韓国国内でのCVD-SiC製品の生産撤退に伴い、CVD炉に対して約300百万円の特別損失（減損損失）を計上する予定です。

2. 通期業績予想の修正内容

2019年3月期通期連結業績予想の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	92,000	9,800	8,500	5,300	143.23
今回予想 (B)	89,400	8,700	8,000	2,800	75.67
増減額 (B - A)	△2,600	△1,100	△500	△2,500	
増減率 (%)	△2.8	△11.2	△5.9	△47.2	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	90,597	8,437	7,157	2,678	77.08

3. 通期業績予想の修正理由

通期業績予想の売上高につきましては、当社グループの太陽電池関連事業の自社製品販売から撤退したことによる減少、有機EL・デバイスメーカー各社の投資意欲が後退し、製造設備の受託製造が影響を受け予想を下回りました。営業利益は太陽電池関連事業の棚卸資産評価損などにより予想を下回り、経常利益も下回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、上記の通り、太陽電池製造設備の減損や韓国のCVD-SiC装置の減損などを特別損失に計上予定であるため予想を下回ることから修正いたします。

なお、期末配当金につきましては、1株あたり12円を据え置く予定です。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

実際の業績は、5月15日公表予定の決算短信をご覧ください。

以上